



エコアクション21  
認証・登録番号0000010

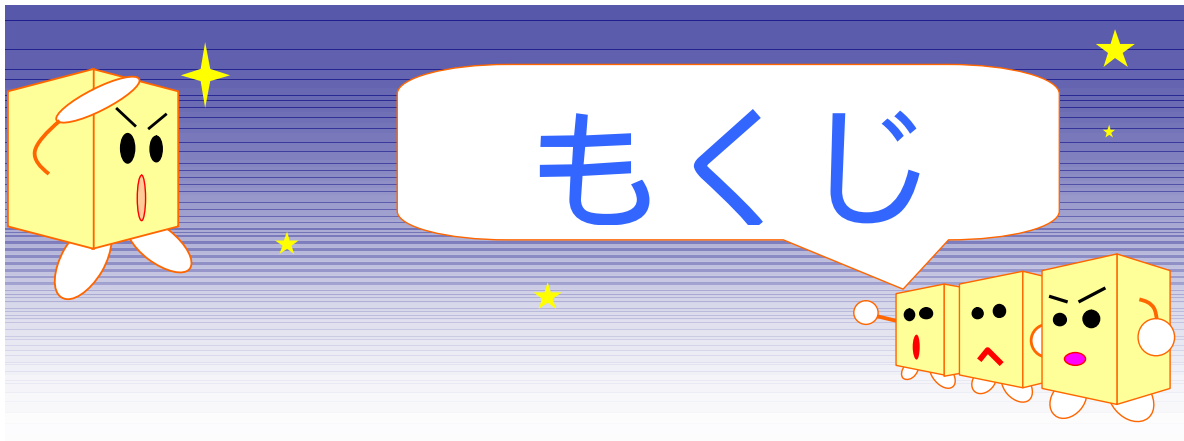
発行日：2011年 6月 30日

# 太陽インダストリー 段ボール事業部 戸畑工場 10年度 環境活動レポート

対象期間 平成22年4月～平成23年3月



段ボールはリサイクル率が極めて高く環境に優しい素材です。  
弊社は、それを加工・販売しています。



組織の概要

対象範囲

環境方針

環境目標

環境活動計画

製造部の取組・・・二酸化炭素排出量の削減及び廃棄物排出量の削減

業務部の取組・・・水使用量の削減及びグリーン購入

物流系の取組・・・二酸化炭素排出量の削減

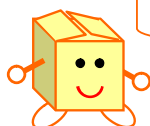
営業部の取組・・・二酸化炭素排出量の削減及び包装材使用量の削減

環境目標の実績

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境関連法規等の遵守状況の確認  
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

代表者による全体の見直しと評価



この環境活動レポートは2009年度版ガイドライン  
に添って作成しています！

# 組織概要

## (1) 認証・登録範囲の概要

事業所名 : 太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 戸畑工場  
 関連事業所 : 太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 製品在庫保管倉庫  
 代表者名 : 事業部長兼工場長 松本 健二郎  
 環境管理責任者 : 花田 剛  
 担当事務局 : 今仁 達也  
 連絡先 : TEL093-884-2135 FAX093-884-2030

### 所在地

戸畑工場 〒804-0071 福岡県北九州市戸畑区川代2丁目3番7号  
 製品在庫保管倉庫 〒804-0076 福岡県北九州市戸畑区銀座2-9-9



## (2) 事業の規模

段ボールケースの製造、販売及び包装資材の販売



項目	単位	2008年度	2009年度	2010年度
主要製品生産量	t	6,508	5,943	6,460
出荷額	万円	136,189	126,267	135,834
従業員人数	人	52	69	71
床面積	m <sup>2</sup>	5,156	8,564	8,564

※2009年度より製品在庫保管倉庫含む

## (3) 全組織の概要

事業所名	所在地	代表者	事業活動内容	主要製品名	社員数
本社	北九州市小倉南区湯川4丁目1番1号	代表取締役社長 水口 真	経理・総務・情報処理等の管理業務		8
戸畑工場	北九州市戸畑区川代2丁目3番7号	工場長 松本 健二郎	段ボールケース・包装資材の製造及び販売	各種段ボールケース包装資材	71
中津工場	大分県中津市大字上如水1342	工場長 竹松 勝則	樹脂成形品の製造及び販売	人工大理石製品・樹脂型・ポリ浴槽	117
中津新田工場	大分県中津市大字大新田425-2	工場長 尾道 暢	樹脂成形品・段ボールケースの製造及び販売	レジンコンクリート製品 FRP成形品・重量物段ボールケース	56
小倉事業所	北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 TOTO小倉工場	所長 佐藤 嘉一	衛生陶器製品の製造・物流	大型洗面器 洋風腰掛便器	107
中津事業所	大分県中津市是則700 TOTO中津工場内	所長 塔元 繁喜	衛生陶器製品の製造・検査・物流	大型洗面器 洋風腰掛便器	200

# 対象範囲

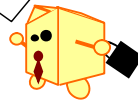
弊社は以下の3事業部により構成しています。  
環境活動の内容を踏まえて紹介します。



EA21を認証取得！(0002058)  
人口大理石・FRP・レジンコンクリート、パイプ等を製造、販売しています。



2011年4月27日に  
EA21の認証取得！！  
(0006932)

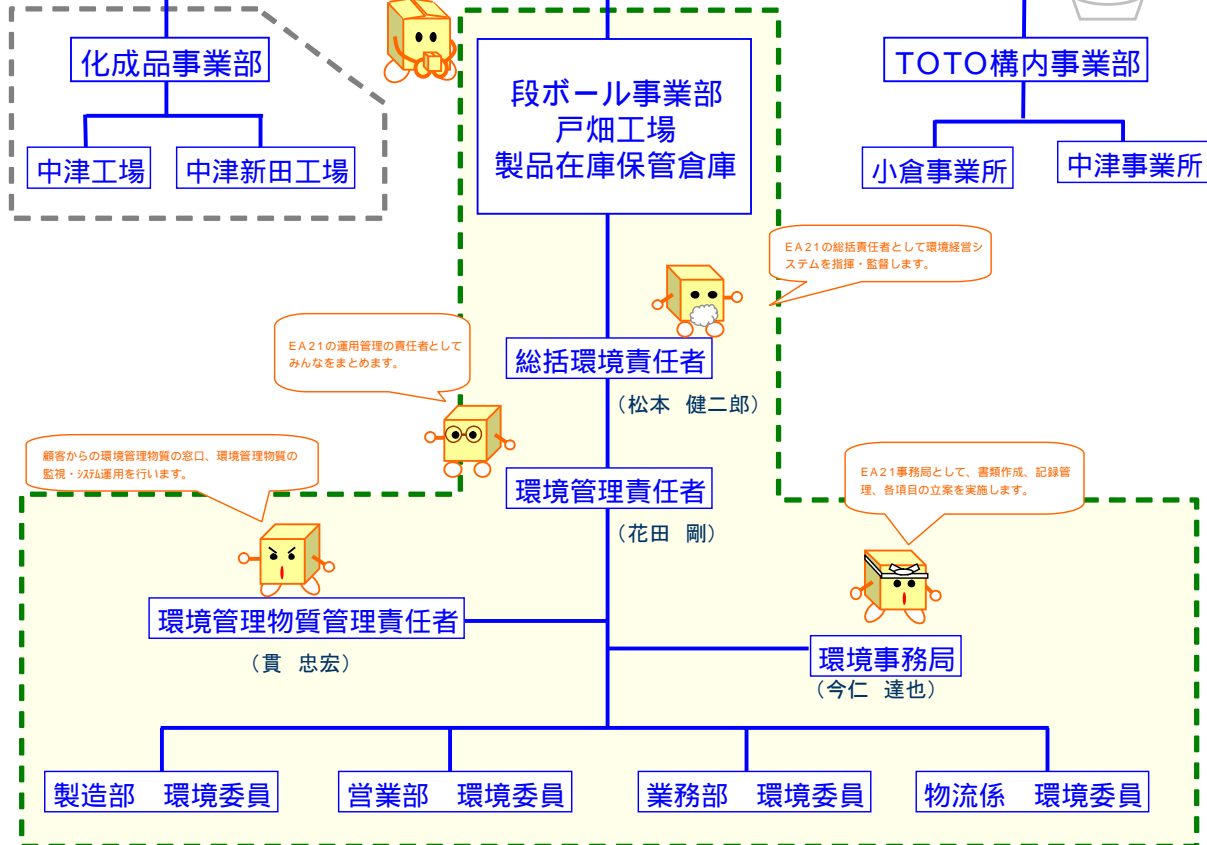


TOTO構内に於いて生産ラインを請負っています。  
環境活動はTOTOさんが認証取得しているISO14001番を実施しています。



認証番号0000010  
の範囲です！

本社



EA21の運用管理の責任者として  
みんなをまもります。

EA21の総括責任者として環境経営システムを指揮・監督します。

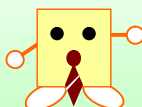
顧客からの環境管理物質の窓口、環境管理物質の監視・対応運用を行います。

EA21事務局として、書類作成、記録管理、各項目の立案を実施します。

製造は電気削減による  
二酸化炭素と廃棄物排出量の削減を行っています！



営業はガソリン等による二酸化炭素排出量削減と包装材の使用量削減を行っています！



業務は水使用量削減とグリーン購入を行っています！



物流は軽油による二酸化炭素削減を行っています！



## ③環境方針

### 1.基本理念

当社は、「お客様の繁栄をお手伝いをする」ことをモットーに、人と自然との共生をめざして、快適で安全な地球環境の保全に少しでも貢献するよう社員一人一人が相違・工夫を図り環境負荷の低減に積極的に取り組みます。

### 2.環境方針

当社は、段ボールケースの製造・販売及び包装資材の販売を行っている中で環境負荷の低減を図る為、以下の環境活動を推進していきます。

- (1)環境目標を定め、定期的に見直し、継続的な環境経営システムの改善に務める。
- (2)環境に関わるあらゆる法規制とその他要求事項を遵守する。
- (3)環境管理物質の適正管理に務め、事故及び緊急事態に伴う環境影響を予防し緩和する為の対策を講じる。
- (4)当工場の事業活動に伴う影響を考慮し、以下の項目について環境改善に務める。
  - ①二酸化炭素排出量の削減。(電気使用量の削減、自動車燃料の使用量削減等)
  - ②廃棄物処分量の削減及びリサイクル率の向上。
  - ③総排水量の削減。
  - ④環境管理物質の不使用を徹底。
- (5)環境に配慮した資材の調達と生活活動の推進資源の消費者として環境に配慮した資材の調達を務めると共に生産活動による環境負荷を積極的に低減する。
- (6)継続的環境改善の実施を行い、更なる環境意識の向上及び環境教育を展開し、全従業員の環境意識を高めていく。(環境活動による費用対効果を対前年比と比較し開示及び周知させ環境に対する意識の向上を目指す。)
- (7)環境に配慮した包装材の設計を行い、包装材の使用量を削減します。

2003年10月1日制定

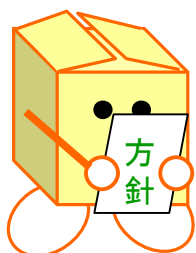
2010年 4月1日改定

太陽インダストリー株式会社

段ボール事業部 戸畑工場

工場長

松本 健二郎



## 環境目標

2011年度以降の環境活動の目標及び中期目標は以下の通りです。

項目		単位	基準値 (2010年度を 基準とする)	2011年度 目標	2012年度 目標	2013年度 目標
二酸化炭素排出量	電気使用量	kg-CO2	211,254	209,141	207,029	204,916
	自動車燃料使用量	kg-CO2	93,472	92,537	91,603	90,668
	総量	kg-CO2	306,038	302,978	299,917	296,857
廃棄物排出量		トン	41.94	41.52	41.10	40.68
廃棄物排出量に対するリサイクル率		%	82.1%	82.9%	83.7%	84.6%
総排水量		m <sup>3</sup>	1,837	1,819	1,800	1,782
包装材使用量の削減		案件/年	1案件 (1%以上の効果)	2案件 (1%以上の効果)	3案件 (1%以上の効果)	4案件 (1%以上の効果)
グリーン購入		%	85.7%	86.5%	87.4%	88.3%
化学物質の使用量	インク	kg	9,550	9,455	9,360	9,266
	糊	kg	234	232	229	227
	接着剤	kg	2,240	2,218	2,195	2,173

※上記化学物質はPRTR法に該当した物質は含まれておりません

※ 九州電力の実排出係数0.378kg-CO2/KWh

## ⑤ 環境活動計画

### 製造部の取組み

平成22年 4月～平成23年3月 : 環境実行要領書 兼 進捗状況報告書

環境目標	項目	手段	取組み内容	担当者	スケジュール					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量削減	戸畑工場の最大需要電力削減による電力使用量削減	手段の見直しと最大需要電力の把握	佐藤	↔					
			最大需要電力計測時の停止可能機器の選定と優先順位の決定	船田		↔				
			負荷抑制機器一覧表に基づき担当者の決定と警報時の対応手順書作成	橋本			↔			
			警報時の対応手順書の掲示及び対応方法の周知	船田				↔		
			警報時の対応手順書に基づきデマンド警報時の対応実施(継続実施項目)	山口 坪根					↔	↔
			最大需要電力計測時の電力使用状況確認	橋本						↔
			取組み内容	担当者	スケジュール					
					10月	11月	12月	1月	2月	3月
			電力使用状況確認による見直しを実施	船田	↔					
			見直しによる削減計画の立案 使用電力計測表を作成	橋本		↔				
			見直しによる削減計画の実施 使用電力計測表に基き計測箇所の調査	船田			↔			
			見直しによる削減計画の実施 計測箇所調査表に基き工場側計測実施	橋本				↔		
			見直しによる削減計画の実施 計測箇所調査表に基き空調計測実施	船田					↔	
			見直しによる削減計画の確認 (使用電力計測実施後の確認)	船田						↔

## 製造部の取組み

平成22年 4月～平成23年3月 : 環境実行要領書 兼 進捗状況報告書

環境目標	項目	手段	取組み内容	担当者	スケジュール						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	
廃棄物排出量の削減	一般ゴミ排出量の削減	製造工場内・休憩室から排出される一般ゴミの分別による削減	排出ゴミの内容物確認による手段の見直し	佐藤	←→						
			排出ゴミの分別意識調査	北代		←→					
			調査後分別取組のチェック表作成	北代			←→				
			チェック表に基づき分別調査開始	三島				←→			
			調査内容の確認	津々見					←→		
			内容の確認による取組み見直し	北代						←→	
				取組み内容	担当者	スケジュール					
						10月	11月	12月	1月	2月	3月
				見直し後の取組み立案 (内容物を記入できる項目追加)	三島	←→					
				立案後の取組み実施	津々見		←→				
				取組み内容の確認	北代			←→			
				内容の確認による取組み見直し	三島				←→		
				見直し後の取組み立案	津々見					←→	
				立案後の取組み実施	三島						←→



# 業務部の取組み

平成22年4月～平成23年3月 : 環境実行要領書 兼 進捗状況報告書

環境目標	項目	手段	取組み内容	担当者	スケジュール					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月
総排水量の削減	水使用量の測定/監視(水道メーターの削減)	日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	前期の実績に基づき、今期の取組み内容の検討	全員	→					
			日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM 竹下 PM 村田	→	→				
			日々による水使用量の測定時間の変更に伴う書類作成。	坪根		→				
			日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM8:00竹下 PM12:25坪根 PM17:00村田			→	→	→	→
			非稼動日の水量計の確認	坪根					→	
			水道蛇口の点検	坪根/竹下						→
			取組み内容	担当者	スケジュール					
					10月	11月	12月	1月	2月	3月
			日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM8:00竹下 PM12:25坪根 PM17:00村田	→					
			日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM8:00竹下 PM12:25坪根 PM17:00村田		→				
			日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM8:00竹下 PM12:25坪根 PM17:00村田			→			
			日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM8:00竹下 PM12:25坪根 PM17:00村田				→		
日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM8:00竹下 PM12:25坪根 PM17:00村田					→				
日々による水使用量の測定(水道メーターの確認)	AM8:00竹下 PM12:25坪根 PM17:00村田						→			



# 物流系の取組み

平成22年4月～平成23年3月 : 環境実行要領書 兼 進捗状況報告書

環境目標	項目	手段	取組み内容	担当者	スケジュール					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月
二酸化炭素排出量の削減	配送用トラック燃費向上	エコドライブ10ヶ条のすすめの実施	2010年度計画立案	吉原	→					
			日々の燃費数値の集計(走行距離)	森野	→	→	→	→	→	→
			①ふんわりアクセルの実施	運転手		→				
			②加減速の少ない運転の実施	運転手			→			
			③早めのアクセルオフの実施	運転手				→		
			④エアコンの使用控えめの実施	運転手					→	
			⑤アイドリングストップの実施	運転手						→
			取組み内容	担当者	スケジュール					
					10月	11月	12月	1月	2月	3月
			エコドライブ上期の効果の確認	栗田	→					
			⑥道路交通情報の活用	運転手	→					
			⑦タイヤの適正空気圧のチェックの実施	運転手		→				
			⑧不要な荷物の積載不可の実施/日々不要物が無いか確認のこと	運転手			→			
			⑨暖機運転の適正の実施	運転手				→		
			⑩違法駐車禁止/運転手に呼びかけ	運転手					→	
			下期/今期反省及び来期の目標設定	森野						→

# 営業部の取組み

平成22年 4月～平成23年3月 : 環境実行要領書 兼 進捗状況報告

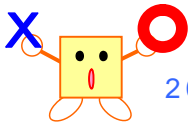
環境目標	項目	手段	取組み内容	担当者	スケジュール								
					4月	5月	6月	7月	8月	9月			
二酸化炭素排出量の削減	営業車両の燃費向上	アイドリングストップの推進及び営業車の点検・整備の実施等	取組み内容についての会議。	全員	→								
			営業車両点検表集計。(今期より、タイヤ・オイル交換時期を点検表に記録・管理)	渡邊	→	→	→	→	→	→			
			営業車のアイドリングについてのアンケート調査、集計。勉強会	渡邊		→							
			適正なタイヤ空気圧、効果検証。	中道			→						
			アイドリングストップ、効果検証。	小松				→					
			こまめなオイル交換、効果検証。 (6,000km走行設定)	菅					→				
			上期検証。	宮寄・河本						→			
								スケジュール					
								10月	11月	12月	1月	2月	3月
			営業車両点検表集計。	渡邊	→	→	→	→	→	→	→	→	
			余裕をもつての出勤、計画訪問、効果検証。	立山	→								
			適正なタイヤ空気圧、効果検証。	小松		→							
			アイドリングストップ、効果検証。	中道			→						
			こまめなオイル交換、効果検証。 (6,000km走行設定)	立山				→					
			余裕をもつての出勤、計画訪問、効果検証。	菅						→			
			下期(通期)検証。	宮寄・河本							→		

# 営業部の取組み

平成22年 4月～平成23年3月 : 環境実行要領書 兼 進捗状況報告書

環境目標	項目	手段	取組み内容	担当者	スケジュール						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	
包装材料使用量の削減	包装材料の重量低減	(1%以上50案件)	取組み内容についての会議。	全員	→						
			シマノ様向け梱包材、仕様変更による材料削減検討。	渡邊・菅		→					
			上記サンプル提示、交渉。	渡邊・菅			→				
			上記削減効果検証。	渡邊・菅				→			
			A式ケース、丁取り数変更によるシート平米低減。(リストアップ)	中道・立山					→		
			A式ケース、丁取り数変更によるシート平米低減。(効果検証)	中道・立山						→	
			上期取組み効果・実績を集計・検証。	宮寄・河本						→	
				取組み内容	担当者	スケジュール					
						10月	11月	12月	1月	2月	3月
		識別表示の推進	リサイクルマークの表示	TOTO様向け梱包材、仕様変更による材料削減検討。	渡邊・小松	→					
	上記サンプル提示、交渉。			渡邊・小松		→					
	上記効果検証。			渡邊・小松			→				
	リサイクルマーク表示の実施状況の把握。			河本	→	→					
	未実施ユーザーへの交渉。			河本			→	→			
上記効果検証。	河本								→	→	
通期取組み効果・実績を集計・検証。	宮寄・河本									→	

## 環境目標の実績



2010年度の環境活動の目標と実績及び中期目標は以下の通りです。

項目	単位	基準値 (05年度～07年 度実績値の平均)	2008年度 目標	2009年度 目標	2010年度 目標	2010年度 実績	判定	
二酸化炭素排出量	電気使用量	kg-CO2	197,765	195,787	213,388	211,254	170,648	
	自動車燃料使用量	kg-CO2	45,634	45,178	94,416	93,472	72,516	
	総量	kg-CO2	247,303	244,830	309,129	306,038	244,943	
廃棄物排出量	ト	43.24	42.80	42.37	41.94	31.32		
廃棄物排出量に対するリサイクル率	%	79.7%	80.5%	81.3%	82.1%	83.9%		
総排水量	m <sup>3</sup>	1,893	1,874	1,855	1,837	1,227		
包装材使用量の削減	案件/年	1案件 (1%以上の効果)	1案件 (1%以上の効果)	1案件 (1%以上の効果)	1案件 (1%以上の効果)	2案件 (1%以上の効果)		
化学物質の使用量	インク	kg	/	/	/	9,550	-	
	糊	kg	/	/	/	234	-	
	接着剤	kg	/	/	/	2,240	-	

### 「環境目標と10年度実績」の評価

今年度は、すべての項目で目標をクリアする事が出来ました。なかでも2009年度に物流部門が配置され、トラックの二酸化炭素排出量を取り込むことにより、目標値の設定を変更し営業車両の実行要領を基に活動を行い、結果として達成出来ましたが、物流等のドライバーの意識付けがあまり周知出来ませんでした。

化学物質の使用量は今年把握出来ましたので、2011年度より削減していきたいと思えます。

また、電気使用量に於いてはデマンドを採用し、事務所にエコモニターを配備することにより、従業員の電気使用量への関心が高まったことは評価出来ます。これにより、エアコン・電灯などの節電効果が実際に反映されました。環境目標の結果でも分かるように全体的に大幅な削減効果が出たことで、2011年度に設定する中期目標基準値(2011年より3年間)の数値が厳しい設定になります。6年間活動を進め、色々な手法を取り込んで来ましたが、近年の削減は非常に厳しいものになると思えます。

それを踏まえ来期は、弊社営業品目の段ボール使用量の削減等を中心に取組んでいきます。市況が厳しい中、予算を掛ければ色々な削減は可能ですが、それは困難なため地道でも全員一丸となって活動して参ります。

また、2010年度はEA21の審査人のご指摘を頂き、環境目標を年度途中で変更しました。いままで「化学物質の不使用」を謳っていましたが、より管理を分かりやすくすることを踏まえ、数値把握へと切换しましたが、当工場が使用する化学物質はPRTR法に該当する物質はありません。

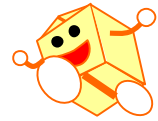


# 環境活動計画と取組結果及びその評価、次年度を取組内容

2010年度、当工場において実施した環境活動の報告です。



## 製造課の電気使用量削減による 二酸化炭素排出量の削減



### 取組内容と結果

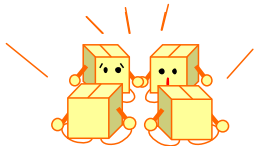
今年度は、エコネットシステムを導入し、最大需要電力の目標を160KWに設定し、最大需用電力を把握する事に努め、警報が鳴った際に事務所棟空調機の使用を停止する事による電力使用量の削減に取り組みましたが、最大需要電力の目標を達成出来なかったため問題点を洗い出すため、各電気機器の使用電力を調査しました。

### 評価

結果として「最大需用電力」の削減は出来ませんでした。従業員の「最大需要電力」が発生した際の対応をする事により、節電に対する理解をしてもらった点については評価出来ます。

### 次年度を取組内容

上記の反省を踏まえ来期は、削減効果を最大限に発揮する事を重点に「工場内付帯設備の使用電力削減」を目指します。



## 製造課の一般ゴミ排出量削減による 廃棄物排出量の削減



### 取組内容と結果

従業員にアンケート調査を行った結果、廃棄物として処理せざるを得ない一般ゴミと再利用可能な紙くずとの分別に取組む事になりました。具体的には、各部署のゴミ箱に一般ゴミと紙くずを分別出来るようにし、ゴミ処理日には交代制でチェック表による確認を行い、取り組みの見直しを行いました。

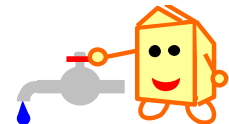
### 評価

今回は全従業員に協力してもらい取組んだ結果、大幅な削減とはなりませんでした。全員が協力してほぼ順調に実施する事が出来ました。

### 次年度を取組内容

次年度は、アンケート調査でもあった弁当屑の持ち帰りなど削減に効果的な内容を盛り込み、再度アンケートを実施し、その内容に基づいて進めていきます。

## 業務課の水使用量削減による 総排水量の削減



### 取組内容と結果

今年度の取組内容は、水使用量の測定回数を2回から3回に変更、休日の水使用量の測定及び水道蛇口の点検の3点を取組みました。

### 評価

前年に比べ、正確な水使用量の把握及び水漏れ等事前に発見することが出来ました。そして、水道蛇口に水量調整2箇所及び蛇口レバーの調整3箇所を行い、水使用量の削減に努めました。

### 次年度を取組内容

今年度は測定のみで終わってしまったので、次年度は全員で取組める内容にし、節水をいかにして行くかを検討したいと思います。また取組む内容が限られているので、同じ内容でも効果が期待できると思います。



## 業務課のグリーン購入の推進

### 取組内容と結果

業務課が事務用品等を購買する際に環境に配慮された製品であるエコマーク商品やGPNDDB掲載品、グリーン購入法適応商品の3点を満たす製品を積極的に購入するようにしています。その為の購入品リストを作成しており、また購入した際には購入の実績を記録保管しています。

### 評価

エコマーク商品を積極的に購入するなどし、昨年度80%から今年度85%と上昇しています。

### 次年度を取組内容

来期も引き続き同様の活動を行い、昨年度の不適合品を見直し、代替品の購入を検討します。

## 物流系の自動車燃料削減による 二酸化炭素排出量の削減

### 取組内容と結果

今期はエコドライブ10カ条に基づき、エコドライブ運転の実施及び各月の燃費を集計し、把握しました。

### 評価

エコドライブと燃費の把握に努めましたが、ドライバーへの周知不足もあり、燃費の改善には至りませんでした。

### 次年度の取組内容

来期は各ドライバーの更なる意識向上を目指すと共に、エコドライブ10カ条の中から特に重要な取組み項目を選出し、削減目標を達成したいと思います。

## 営業部の自動車燃料削減による 二酸化炭素排出量の削減

### 取組内容と結果

前年効果のあった「エコドライブ10カ条」のうち、4項目を抽出し、実行しましたが個人の意識レベルに頼りすぎ、管理がおろそかになった為に効果が期待したほど出ませんでした。

### 評価

結果、燃費に関しては対前年比と比較して2.4%削減出来ましたが、個々のエコドライブに関する意識はまだ低いように感じました。

### 次年度の取組内容

活動に関してチェック出来る仕組み作りを行い、削減効果を出して行きます。

## 営業部の包装材使用量の削減

### 取組内容と結果

仕様改善による材料削減に取組んだ結果2案件の削減効果がありました。又、ユーザーにリサイクル啓蒙活動のため新たにリサイクルマーク表示を実施し、73件変更出来ました。

### 評価

削減効果が30t相当と大幅に削減しており、評価出来ます。

### 次年度の取組内容

昨年同様使用量削減により、より良い製品の開発とリサイクルマークの推進によるユーザーの意識向上を継続して行きます。

## その他 環境に関する活動(環境コミュニケーション)



工場周りの清掃の様子

### 取組内容

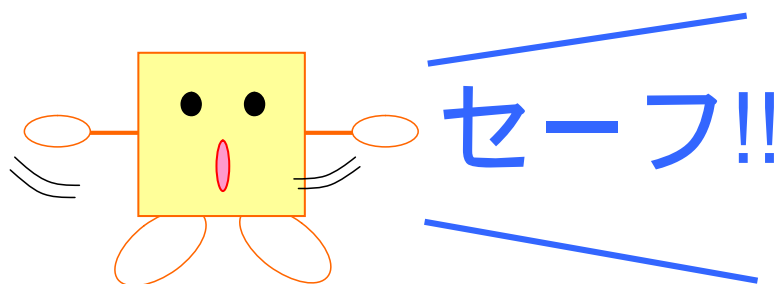
毎月1回、従業員による工場周辺のゴミ拾いを行っております。この活動はかれこれ5年になります。すっかり馴染みのある活動になり、周辺の方々に認知して頂くようになりました。

また、今年度は悪天候の為に実施はされませんでした。毎年10月の第一曜日には北九州市主催の「街美化の日」に伴い当工場のある川代埠頭においても、近隣工場と一緒に周辺部のゴミ清掃をおこない、周辺企業との交流を図り従業員一同環境に対する意識向上を図っています。

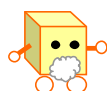


## 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

当工場に適応される環境に関する法規を遵守しています。尚、法規確認の結果違反は無く、関係当局並びに利害関係者からの指摘もありませんでした。



## 代表者による全体の見直しと評価



10年度の総括です。今年度からガイドラインが改訂され、さらなるシステムの効率化を図りたいと思います！

項目	所見
監査の結果	内部監査人による内部監査チェックリスト及び環境責任者の報告内容により全般的には問題無しと判断する。
是正の実施状況	是正報告書に記載されている5項目について問題なく改善されているので問題無いと思います。
法の遵守状況	法律等の遵守状況のチェックリストに於ける遵守状況の報告及び状況確認を行い問題無し。又、新しい法律及び変更法律は、該当無し。
実施体制の適切性	3ヵ年計画の最終年ですが、実行要領書の提出が遅れている部署があるようなので事務局から事前連絡を適度に行い無理の無い活動が出来るようにする。
目標設定の妥当性	3ヵ年計画の目標値に対し達成しているので妥当性は、あったと考えています。来年度からの目標設定にも弾みがついたと思います。
教育、訓練の実施状況	計画に従って実施しているので問題はないと判断する。 次の3ヵ年計画に於ける部門長育成計画を立案することを環境責任者に指示しました。
コミュニケーションのあり方	電気使用量削減の取り組みとしてデマンド管理を電気保安協会と打合せを十分にして実施した結果非常に積極的に取り組んで貰っていると保安協会の方からお褒めのことばを貰った。
文書管理状況	事務局担当者の変更と共に引継ぎの処理に多少問題あり今後、引継ぎ処理がスムーズに実行出来るように職務、権限等を教育して行くようにしたい。
運用管理の有効性	運用、実行の管理については行われているが、有効性としては、まだ不十分と思われるので、集計方法及び表示方法を考えて少しでも判りやすくしていきたい。
緊急事態の考え方	計画している緊急事態の教育、訓練については問題ないと思われるが、緊急事態の想定に多少固定観念に捕らわれているので環境委員会にて色々考えて行くようにする。
環境方針の変更の有無	2009年度版に従い一部環境方針を変更しようと思っています。今年度は、一部変更しましたが、問題なく活動が行われたと思います。
環境目標の変更の有無	本年度の環境目標の数値は、達成できましたので2011年度よりの3ヵ年の目標数値を新たにせっていして活動していきたいと考えています。
要求事項の変更の有無	2009年度版に従って要求事項の変更を行い問題なく活動出来ましたので化学物質の使用量の削減に取り組んでいく。
その他	今回も、E A 2 1を取得して色々な取組を実行して二酸化炭素の排出量の削減は、結果を残せて従業員の認識も向上してきたと認識していますが、更なる向上を目指す為に活動によるコスト削減効果を算出することによって再度、認識の向上を図りたい。